

12月指導計画(3歳以上児クラス) 幕張第二保育所												所長印	主任印	担任印
3歳児				4歳児				5歳児						
子どもの姿	・年上児の姿を見て「やってみよう」と意欲的に取り組む姿がある。 ・異年齢児と共に遊ぶ中で、ルールのある遊びやごっこ遊びの経験が増え、遊びの楽しさがわかったり、遊びの興味が広がってきた。				・仲良しの友達と好きな遊びを楽しみつつ、保育者に誘われ他の遊びに興味を持ち参加したり、他の友達と遊んだりしている。友達との遊びの中では、トラブルが多いが、保育者が間に入る事で自分の思いが伝えられるようになってきている。 ・生活面は一通り自分でやっているが、雑な事が多い。				・問題や困ったことが起きた時、年長会議で話し合おうという子が多くなる。ルールを変更したり、新ルールを設けたりして遊びや生活がうまく進むようにしている。 ・自分達のやりたいことを言葉に表して、それを実現させようとする姿が見られる。					
	ねらい	・手洗いやうがいの仕方が分かり進んでやろうとする。 ・保育者や友達といろいろな遊びを通して関わりながら、表現することや体を動かすことを楽しむ。				・生活に必要な事を、なぜ行かぬかの理由がわかり一つひとつ丁寧に行おうとする。 ・自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、相手の思いや考えに気付いたりする。				・病気の予防などに必要な習慣や態度がわかり進んで行う。 ・友達と協力したり工夫したりして、自分達で遊びを發展させて進める楽しさを味わう。				
活動内容		環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成	活動内容	環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成	活動内容	環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成		
養護 〔情緒の安定〕 〔生命の保持〕		・一人一人の様子に合わせて、時間に余裕を持ち一対一でゆとりと関わる。	・自分でできることでも保育者に「やって」と甘え、行動が進まない子がいる。①	・甘えを充分に受け止め必要に応じて手助けをしながら、子ども自身が「自分でやってみよう」と思える言葉掛けをする。		・同年齢の友達と一緒に、興味のある遊びに参加出来る時間や場所を設定する。	・友達と遊んではいなくても、同じ場にいるだけになっていたり、遊びが広がっていかない姿がある。⑦⑧	・トラブルになったり遊びが広がらない時は、保育者が仲立ちとなりお互いの思いを伝えたり、發展していくように、保育者も一緒に遊びを楽しむ。		・話し合いの内容の結果を個別に伝え、理解したか確認する。	・理解しやすくなって活動や遊びにその子なりに参加できる。⑦⑧	・困っている時には何に問わずに状況を整理し、自分達で最後までやり遂げたという思いが持てるようサポートをしていく。		
	教育 〔健康〕 〔人間関係〕 〔環境〕 〔言葉〕 〔表現〕	○うがい	・ガラガラとブクブクうがいの違いが分かるように絵や言葉で知らせる。	・入室後や食後にうがいをする。⑦	・区別してうがいをするのが難しい子もいるので、保育者が見本となり、うがいの違いに気づけるようにしていく。 ・水が冷たくて手を洗うのが雑になってしまいうもいるので、保育者が見本となり丁寧に洗えるようにする。 ・保育者が見本となりながら子ども達と一緒にいき、やりかたを知らせていく。	○手洗いうがい	・手洗いうがいの必要性を紙芝居や絵本などを用いて知らせる。	・手洗いうがいの必要性がわかり、自分から進んで行う。一方で、速くやろうとするあまり、しっかりと洗えていない様子も見られる。⑦	・きちんと洗えている姿を認め、同時に丁寧にやる事の意味を個々に知らせる。	○手洗いうがい 衣服の調整	・手洗いうがいの大切さを話す機会を持った。温度計を置き気温の変化がわかるようにする。⑦⑧	・冬を健康に過ごすために必要な習慣や態度(手洗い、うがい衣服の調節等)が身につく自分から行う。⑦⑧	・気温の変化を感じたり、周囲の人の様子をみたりして自分から衣服の調節ができるようになる。	
○手洗い		・手洗いの歌を用意する。 ・腕まくりがしやすい服を用意してもらう。	・歌に合わせて丁寧に手を洗う。⑦	・水が冷たくて手を洗うのが雑になってしまいうもいるので、保育者が見本となり丁寧に洗えるようにする。 ・保育者が見本となりながら子ども達と一緒にいき、やりかたを知らせていく。	○食事	・マナーについて、確認する場を設ける。 ・着遊びの設定をする。 ・食べこぼしたものを自分で拭けるよう拭きやティッシュ等を用意する。	・配膳する前に、食事のマナーや声の大きさについて確認する。 ・個々に声を掛ける時は側に行き、保育者自身も静かな声で知らせる。	・友達と遊んではいなくても、同じ場にいるだけになっていたり、遊びが広がっていかない姿がある。⑦⑧	○お店屋さんごっこ 〔商品作り〕 〔ルール作り(役割分担)〕 〔お金作り〕 ○レストランごっこ 〔飾り作り〕 〔係りの仕事〕	・遊びを始める前にルールや遊びの確認を自分達でする。 ・存分に楽しめるような時間やスペースの確保をする。 ・お店屋さんやレストランのイメージがしやすいような絵本やカードを子ども達の見えるところに準備しておく。様々な材料や用具をそろえておく。	・友達とトラブルになった時子ども同士でルールを見直したり、第三者的立場の子が発言したりして解決しようとする。⑨⑩	・ルールを見直すことができるよう、子どもが決めたルールや遊びのルールを明記し、子どもがいつでも見られるようにする。		
○防寒着の始末	・コート掛けを用意し、自分のハンガーが分かるようにマークをつける。 ・入室後の流れを知らせ、動線がスムーズになるようにする。	・自分のハンガーを見つけてコートを掛け、落ちないように前に留める。④ ・チャックやボタンを自分で留めようとする。④	・正しい持ち方を知らせ、著に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を著に切り替える。 ・保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。	○ルールのある遊び 〔鬼ごっこ〕 〔円形ドッジボール〕 〔わらべうた遊び〕	・様々な素材や廃材など子どもが使いやすいように用意したり、子どもが必要な物を考えたり話し合ったりしながら、用意していく。	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	・自分の思いや考えを言葉で伝える。⑦	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	○表現遊び 〔楽器遊び、合奏〕 〔劇ごっこ〕 〔ダンス〕	・イメージが広がりやすい絵本や小道具、音楽、楽器を用意し、いつでも表現遊びが楽しめるようにする。 ・友達が作ったものやできたこと、表現した場に対して認めあえる場を設け、工夫した点を伝えていく。	・絵本や物語の気に入った場面を友達とセリフを言いあって楽しさを感じ、さらに役割を分担しストーリーに沿って演じて楽しもうとする。⑨⑩ ・自分達で好きな曲、振付、構成を考え、リズムに合わせてチームとして踊ることを楽しむ。⑨⑩ ・楽器の使い方を知り仲間と決められたリズム、音階を奏でること一つ一つの曲になることを喜ぶ。	・表現遊びが苦手な子にはその子の得意なことから表現遊びにつなげていけるようにする。 ・友達が作ったものやできたこと、表現した場に対して認めあえる場を設け、工夫した点を伝えていく。		
○箸遊び	・箸遊び道具を用意する。	・興味を持ち箸を使ってみようとする。⑦⑧ ・正しい持ち方を意識して使おうとする。⑨	・正しい持ち方を知らせ、著に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を著に切り替える。 ・保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。	○制作 〔イメージした物を作る〕 〔絵を描く〕	・様々な素材や廃材など子どもが使いやすいように用意したり、子どもが必要な物を考えたり話し合ったりしながら、用意していく。	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	・自分の思いや考えを言葉で伝える。⑦	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	○クッキング ○スタンプラリー	・遊びや活動をする中で一人一人がリーダーになれるような、年下児がいる小グループを作る。	・言葉で伝えることが苦手な子に対しては手をつないで案内すること等の行動で気持ちを伝えていく方法があることを伝える。			
○鬼ごっこ 〔形鬼〕 〔色鬼〕	・形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。	・友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ・ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦	・正しい持ち方を知らせ、著に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を著に切り替える。 ・保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。	○制作 〔イメージした物を作る〕 〔絵を描く〕	・様々な素材や廃材など子どもが使いやすいように用意したり、子どもが必要な物を考えたり話し合ったりしながら、用意していく。	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	・自分の思いや考えを言葉で伝える。⑦	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	○クッキング ○スタンプラリー	・遊びや活動をする中で一人一人がリーダーになれるような、年下児がいる小グループを作る。	・言葉で伝えることが苦手な子に対しては手をつないで案内すること等の行動で気持ちを伝えていく方法があることを伝える。			
○表現遊び 〔楽器遊び〕 〔オペレッタ〕	・好きなお話しのおペレッタの曲や、小道具をさり気なく用意しておく。 ・リズムの取りやすい曲や扱いやすい楽器を用意しておく。	・友だちの様子を見たり、保育者の誘い掛けで少しずつ興味を持ち、一緒にやってみようとする。⑨⑩	・正しい持ち方を知らせ、著に興味を持てるようにする。 ・正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を著に切り替える。 ・保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。	○制作 〔イメージした物を作る〕 〔絵を描く〕	・様々な素材や廃材など子どもが使いやすいように用意したり、子どもが必要な物を考えたり話し合ったりしながら、用意していく。	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	・自分の思いや考えを言葉で伝える。⑦	・イメージするものや作りたいものなど、様々な素材や廃材を利用して自分なりに作って楽しむ。⑨⑩	○クッキング ○スタンプラリー	・遊びや活動をする中で一人一人がリーダーになれるような、年下児がいる小グループを作る。	・言葉で伝えることが苦手な子に対しては手をつないで案内すること等の行動で気持ちを伝えていく方法があることを伝える。			
行事予定	5日(火)年長児クッキング お買いものごっこ 6日(水)消防署立会い避難訓練 14日(木)おはなし会 19日(火)レストランごっこ 20日(水)スタンプラリー 22日(金)おたのしみおやつ 28日～1月3日年末年始休み	家庭との連携	・感染症が流行しやすい時期なので、感染症情報をその都度知らせ、家庭との連絡も密にし、共に予防に努めていく。 ・薄着の大切さを知らせるとともに、子ども達が動きやすく脱ぎ着しやすい防寒着を用意してもらう。	年長児保護者との連携	・個人面談を行い、就学へ向けて不安に思っていることを聞いたり、生活の見直しを(起床時間、就寝時間、身支度等)お願いしたり、情報交換、共有を行う。 ・11月はお昼寝なしの日を週3日にしたが、体調、生活リズムについてを聞き、無理のないスケジュールを立てていく。	小学校・地域との連携	・小学校へ散歩に行き、校庭で遊んだり、トイレを借りたりして、身近に感じられるようにする。 ・小学校の給食に興味を持っている子が多いので、食器等を見せてもらえるような機会を作る。④ ・おたよりの交換をし、お互いの雰囲気がかかるようにする。	○公園 〔小学校校庭〕	・風冷たさや息の白さなどが感じられるように冬ならではの自然に触れる機会を持つ。	○そらじ	・小学校で見た掃除の仕方について気づいたことを表にしてまとめ、すぐ見られるようにする。	○避難訓練	・外に出て風の冷たさや息の白さなど冬ならではの事象に気づき友達に知らせる。⑨ ・用具の正しい使い方を知り、友達と譲り合って使い、日頃使っている部屋やロッカー等をきれいにしようとする。④ ・自分の身を守ることについて考えようとする。⑨⑩	・自然の変化に目を向けられるように声をかけたり子どもの気づきや不思議に思ったことを一緒に調べたりする。 ・掃除する際、不都合なことが出てきた場合は(場所や人数等)子どもと話し合う場を設ける。 ・町には子ども110番の家があることを伝え、自分の地域にもあることを知らせる。
	月の反省		3歳児		手洗いうがいは歌を流して行ったことで前よりも意識して手洗いをする姿が見られている。引き続き、丁寧にできるよう見守り、必要に応じて声をかけていく。上着掛けの設置を行い、入室後の流れが少し変わったが、保育者が実際に手本を示しながら行うことで子どもも流れが分かり、自分でできるようになってきている。チャックが締めにくい上着もあるので、一緒に行うようにしていく。表現遊びでは、年上児の姿に刺激を受け、最初はじっと様子を見ていた子どもと一緒に楽しむ様子が見られるようになってきた。保育者も一緒に遊びに入り、楽しさが味わえるようにしていく。		4歳児		手洗いは細かいところきれいに洗おうとする姿は見られた。うがいが忘れがちなので、最初に口をゆすいでからうがいをする事を、その意味も知らせ、習慣づけるようにしていく。 ・鬼ごっこや花いちもんめなど、自分からやりたいと言う姿が増えた。集団も少しずつ大きくなっている。一方で、遊びが長続きしない様子も見られる。保育者も一緒に遊びながら、じっくりと遊びこめるようにしていく。 ・遊びの中で困った事がある時、どうしたらよいか、子ども達に投げかけ、自分達で考えようとする場を設けている。考えたり、その考えを友達に伝える、という経験を続けていく。		5歳児		・お店屋さんごっこ、レストランごっこを通し、話し合いや準備といった過程から楽しむことができた。準備をグループで作業をしたところ、友達の思いに触れたり、自分の意見を伝えたりする機会が持てた。友達の強み、得意なことが何かと子ども達(数や形が得意、文字を読むのが得意、アイデアが出せる等)にも感じられている。行事、経験活動を通し、人の役に立つ喜びを感じる姿が見られた。 ・お手紙遊びから不思議に思ったことを郵便局に聞きに行った。保育所内だけで解決できないことを自分達で調べられる体験ができたことは次につながると思う。(修了児遠足のための駅探検等) ・気温計、体感を通じて身支度を考える姿が見られた。ポケットに手を入れる、ズボンのすそが長い、どの程度汚れたかを自分で考える等、自分で考える力が弱いので考えられるようにしていきたい。	

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 ア.健康な心と体 イ.自立心 ウ.協同性 エ.道徳性・基本意識の芽生え オ.社会生活との関わり カ.思考力の芽生え キ.自然との関わり ク.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ.言葉による伝えあい コ.豊かな感性と表現